

令和 2 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

令和2年度事業報告

平成9年より運営を開始し、今年で24年を迎え法人の基盤強化と事業の発展を模索してきたところである。この社会福祉法人は、多様な福祉サービスがその利用者の意思を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として運営しております。社会事業としては特別養護老人ホーム、保育所の運営、一時預かり事業等を行っております。

令和2年度はコロナ禍の影響で予定していた行事や地域との交流などに制限されることが多い1年でした。

【施設設備状況】

設備等の老朽化により室内外の整備の業者契約を行い整備をしました。

コロナ禍の影響もあり、衛生面での機器の備え、(サーモカメラ・オゾン機器・自動噴霧消毒器の導入) 感染防止対策強化を図る。

飛沫感染防止の亚克力板の設置

遊具の購入 (安全点検の充実)

防犯カメラの設置

施設保護者に緊急時及び施設の連絡等に一斉メールの配信開始

入浴機器の整備

安全面と衛生面の職員の意識を高め、感染防止に法人全体が努めた1年である。

【職員の確保と資質向上】

適正で安心した施設運営を行い、利用者の施設環境の充実を図るため、職員の資質向上を目指し、日頃より努力し、日常業務が円滑に進められるよう人員の確保にも追われた1年であった。個々の日常業務の努力が見られた。今後も職員の安定、安心できる環境設定に心掛け取り組んでまいります。

法人の運営

令和2年度 社会福祉法人リベルテ理事会等の報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

月 日	項 目	内 容
令和2年5月21日 (木)	法人 決算監査	令和2年度法人会計全般、定款細則第12条による (別紙監査項目と監査結果について)
令和2年5月29日 (金)	第1回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第1号：令和元年度事業報告の承認について 議案第2号：令和元年度収支決算報告の承認について 議案第3号：評議員会開催について 議案第4号：評議員選任・解任委員の選任について
令和2年6月12日 (金)	第1会定例 評議員会	議案第1号：令和元年度事業報告の決議について 議案第2号：令和元年度収支決算報告の決議について
令和2年12月25日 (金)	第2回定例 理事会	理事長及び業務執行理事職務実行状況報告について 議案第5号：りんりん保育園運営規程一部改正について
令和3年3月27日 (土)	第3回定例 理事会	議案第6号：令和3年度事業計画（案）について 議案第7号：令和3年度収支予算（案）について 議案第8号：評議員選任候補者の推薦について

定期報告等：法人現況報告について・法人変更登記

諸規則等の改正：諸規則等を必要に応じて改正

令和2年度 サンホーム真壁 事業報告

特養・短期入所

令和2年度の入所稼働率（短期入所含む）は、88.8%でした。

職員の離職等により、入所定員（短期入所含む）を60名に変更いたしました。

特養の入所要件が要介護3以上となり重度化しておりますが、重度化に対応するために嘱託医との連携を図りながら、入所者の健康管理を行いました。

また、ご家族の意向を尊重し看取り介護も行いました。

新型コロナウイルス感染症対策について

嘱託医に研修会を依頼し職員教育を行いました。

1日2回の検温・うがい・手指消毒・マスク着用の徹底をしました。

ご家族には、ガラス越しの面会を行っていただく等面会の制限を実施いたしました。

居宅介護支援事業所

令和2年度の新規利用者は2件、年間の稼働率は44.2%でした。

近年、終末を自宅で迎える利用者が増えてきており、医療系サービスの必要性が高まっています。地域の医療機関との連携を図りながらケアプランの作成を行いました。

また、主任介護支援専門員研修を受講し、多様化するニーズに対応しケアプランを作成いたしました。

通所介護事業を休止していることや居宅介護支援事業所の稼働状況を鑑み、令和3年度より休止とします。

令和2年度 サンホーム真壁 事業・催事等の報告

月	行事名	実施内容
4月	花見	桜花見(施設内)
	地域貢献事業	地域清掃活動
5月	端午の節句	菖蒲湯の提供
	母の日	レクリエーション、プレゼント、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	4,5月生まれ誕生会、行事食
6月	地域貢献事業	地域清掃活動
	父の日	レクリエーション、プレゼント、行事食の提供
7月	七夕まつり	笹飾りレクリエーション、読み聞かせ、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	6,7月生まれ誕生会、行事食
8月	地域貢献事業	地域清掃活動
	納涼祭	レクリエーション、行事食の提供
9月	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	8,9月生まれ誕生会、行事食の提供
	敬老会	長寿のお祝い、レクリエーション、プレゼント、行事食の提供
10月	地域貢献事業	地域清掃活動
	運動会	運動会、行事食の提供
11月	みかん狩り	サンホーム農園でのみかん狩り
	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	10,11月生まれ誕生会、行事食の提供
12月	地域貢献事業	地域清掃活動
	クリスマス会	レクリエーション、プレゼント、行事食の提供
	餅つき	餅つき、行事食の提供
	大掃除	大掃除
1月	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	12,1月生まれ誕生会、行事食の提供
2月	節分	豆まき、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
3月	ひなまつり	レクリエーション、行事食の提供
	地域貢献事業	地域清掃活動
	誕生会	2,3月生まれ誕生会、行事食の提供

令和2年度 サンホーム真壁 会議・委員会報告

【会議・委員会】

会議・委員会名	開催頻度	内 容
施設会議	毎月開催	施設運営全般について
入所検討委員会	〃	入所希望者の情報共有、検討会 (各関係機関等への参加要請)
給食委員会	〃	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討
防災・環境委員会	〃	施設内・外の自主点検など
レク委員会	〃	催事等の実施内容の検討など
感染症対策委員会	随時開催	感染症などに対する対応方法の検討など
褥瘡委員会	〃	褥瘡予防や対応方法の検討など
担当者会議	〃	施設内連絡・調整、実施計画の策定など
看取り委員会	〃	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)

【その他】

項目	実施日	内 容
防災訓練 (年2回以上)	R2年6月17日	夜間想定総合訓練
	R3年2月18日	総合訓練
苦情処理	無	無

令和2年度 保育園事業報告書

東平塚保育園

令和2年度は4月当初から新型コロナウイルス感染拡大防止のための緊急事態宣言が出され、4～5月が自粛期間となり異例の措置が取られました。その為、新型コロナウイルス感染対策のための環境整備を重視し、オゾン発生器や空間除菌器・ディスペンサー・顔認証サーマルカメラなどの設置をいたしました。また、子どもたちの感染予防対策として、園内の換気や除菌、清掃の徹底を図り、保護者の皆様には保育室に入らなくても子どもたちの活動がわかるよう、玄関に各クラスの作品展示や写真等を張り出すなどの工夫をしてきました。

さらにコロナ禍の状況を踏まえて、園内行事の計画の見直し、変更を行ってきました。今までの保護者参加行事の夏祭りは子どもたちだけで楽しみ、親子遠足は中止、発表会はビデオ撮影とし、CDを配布いたしました。

政府からの新しい生活様式が示されてはおりますが、子どもたちの3密を避けることは難しく、出来るところから取り組んできました。

手洗いで専用検査キットを使って子供たちの手洗いの確認をし、しっかりと手洗いの習慣を身につける。天気の良い日はテラスや中庭で給食を食べたり歯磨きをしたり、午睡時もホール(一時室)を止め、できるだけ蜜を避けられるよう各クラスで行うなどの工夫をしてきました。

今後も、どういう状況下であっても、子どもたちが心身ともに健康で、笑顔でいられるような環境づくり体制づくりをしていきたいと思っています。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17
4歳児	12	17	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
3歳児	20	20	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
2歳児	18	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
1歳児	16	14	14	14	14	14	14	16	16	16	16	16	16
0歳児	12	6	6	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9
合計	90	93	93	96	96	96	97	99	99	99	99	99	99

イ)職員体制(計 25名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	12名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	4名	調理員	1名
副主任保育士	2名	看護師	1名	補助職員	2名

2.保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- 定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

主な園内・園外行事

実施日	内 容	場 所
4月1日	入園式・進級式	一時保育室
6月16～30日	未満児・以上児個別面談	多目的ホール
7月7日	七夕集会	多目的ホール
7月22日	ジャガイモ掘り	中庭畑
7月31日	夏まつり	多目的ホール・中庭
9月4日	サツマイモ掘り	駐車場側畑
10月14日	運動会	園庭
10月30日	ハロウィンパーティー	園舎内
12月9日・16日	発表会	一時保育室
12月25日	クリスマス会	一時保育室
1月14日	ならせ餅づくり	多目的ホール
1月21日	なわとび大会	園庭
1月28日	凧あげ大会	園庭
2月1～26日	未満児・以上児個別面談	多目的ホール
2月2日	豆まき集会	多目的ホール
2月12日	お店屋さんごっこ	各保育室
3月3日	ひな祭り集会	多目的ホール
3月18日	お別れ会	一時保育室
3月24日	卒園式	一時保育室

※ その他、誕生会(毎月)、野菜の苗植え、クッキング等

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施 (6/15・11/17)
- ・歯科検診 年2回実施 (6/24・11/13)

イ) 食育(給食)

- ・「食を楽しむ」ことに取り組み、季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れてきた。
- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・畑で季節の野菜を育て、育てることの大変さ・収穫する喜び等を体験することができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。(給食会議 月一回)

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因の解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え避難訓練を行った。

実施日	内容	消防立合	実施日	内容	消防立合
4月17日	園内の火災	無	10月16日	園内火災	無
5月15日	地震からの火災	無	11月12日	風水(竜巻)	無
6月17日	火災(通報訓練)	無	12月10日	火災(通報訓練)	無
7月17日	地震	無	1月22日	地震	無
8月26日	風水(竜巻)	無	2月19日	風水(竜巻)	無
9月1日	地震	無	3月19日	地震・火災	無

エ) 防犯訓練(年3回 実施)

6月23日	不審者想定	11月10日	一時避難	2月5日	二次避難
-------	-------	--------	------	------	------

3.職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断(6月・11月) ・保菌検査(毎月(10月～3月ノロウイルス実施))
- ・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ) 会議

- ・職員会議(毎月) ・給食会議(毎月) ・以上児会議・未満児会議・リーダー会議等随時月の予定確認やクラスごとの様子、各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省点を踏まえ、次年度の課題として取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

- ・職員の資質向上を目指し各研修に参加した。

園内研修状況

開催日	研修名
6月17日	水遊びについて(職員の心構え・水遊びの留意点)
7月28日	夏の感染症(予防と対策)・虐待防止について
8月31日	保育施設における新型コロナウイルス対策について
9月30日	アプローチカリキュラム～小学校とのつながり
10月21日	安全対策、事故やけがの防止と対策(ヒヤリハット集計より)
11月27日	保護者対応について・
12月21日	冬の感染症について
1月28日	アレルギー対応、対応と連携
2月19日	子どもを尊重する保育の為に(子どもの権利条約)
3月22日	次年度のリミック、月の歌新年度にくけて

園外研修状況

※今年度はコロナの影響でリモートでの研修が行われた。

実施日	内容
9月24日	令和2年度社会福祉施設等看護職員研修
10月15日	保育者の為の感染症対策講座(基礎編) オンライン
11月5日	令和2年度園外活動時の見守り対策講習会
11月17日	令和2年度第3回保幼小接続担当者研修 オンライン
11月25日	令和2年度中堅保育士研修 オンライン
12月3日	令和2年度保育士研修 オンライン
2月26日	令和2年度保育所におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会) オンライン

5.家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー(配信システム)を利用する。
 - ア) 保育参観
- ・年2回 保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
 - ※今年度はコロナの影響で中止とした為、感染対策をしながら個別面談を行った。
 - イ) 苦情・要望
- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行うが、今年度は無かった。

6.地域とのかかわり

※地域で開催される様々なイベントへの参加は出来なかった。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	<p>入園や進級当初、コロナ禍により合同保育が進めることが多かったため、異年齢とのかかわりが持て、いたわりや思いやりの気持ちを伝えることが多かった。反面、不安定にならないよう保育士との関わりやゆったりとした保育の進め方を工夫していったことでスムーズに進められた。</p>	<p>合同保育になったことで、小さいクラスの子どもたちが不安定にならないようスキップを多くとったり戸外遊びを多く取り入れ気分転換を図ってきた。特にい所時には肯定感を持った言葉かけや自信が持てるような働きかけをしてきた。</p>
	発達援助の基本	<p>なるべく計画に沿って進められるようカリキュラムの見直しをしながら進めてきたが、コロナ禍で行事の変更や見直しが多くあり、計画の変更を余儀なくされた。目的を達成できるよう工夫しながら、なおかつ楽しめる活動に変更してきた。</p>	<p>行事の変更があったことで、保育理念や目標の見直し、かけ離れないよう注意してきた。大きな行事では、保護者参観がなくなってしまったものもあったので、できるだけ、子どもたちの様子がわかるように写真の張り出しや、作品の展示などを行ってきた。</p>
	健康管理・食事	<p>マスクの必要性や感染症対策の手洗いの確認、うがいや、こまめな水分補給をすすめる。また、時間を決めての全管内の換気（チャイムで合図）の徹底。食育を通しての健康管理や、食事のマナーを年齢に合わせて指導してきた。給食はほとんど残食はなく、お代わりをしてよく食べる子が多かった。</p>	<p>毎日の視診や検温の管理をしっかりと行ってきたが、未満児は鼻水や咳が出ていても登園しているので家庭との連絡をしっかりと取ってきた。PCR検査を受ける報告が後半増えてきたが、検査結果が出るまでは休んでもらうなど協力してもらうことが多かった。</p>
	保育環境	<p>コロナ禍ということもあり子どもが不安になったときはいつでも応じられるよう保育士が身近にと安心できるようにしていた。クラスだけでなく園全体でも、職員間のコミュニケーションをしっかりと進めてきた。</p>	<p>どのクラスもしっかり換気や消毒をしており衛生面では問題はないと思うが、子どもたちが使った後にペーパータオルが落ちていたり、石鹸の泡が流しに残っていたりしていたので、子どもたちに注意をしたり、気持ちよく使うことをしっかりと伝えていって欲しい。</p>
	子育て支援	<p>子どもたちの受け入れがテラス側からになり、保育室の様子が見られなくなったことで、玄関に写真の張り出しや作品の展示が始まるなど、保護者の不安感をぬぐえる工夫をどのクラス担任も行ってきた。連絡帳も普段より多く活用してきた。保育参観ができなかったので、個別面談の期間を長くし、感染対策をしながら行うことができた。</p>	<p>保護者が、保育室内に入れないことで、どのようにしたらよいか考えだされたのが写真の張り出しで、今まで以上に作業が増えているが、保護者に安心してもらいたいという気持ちで取り組んできた。又、手作りアルバムの写真の枚数を増やし、園の様子を伝えていった。</p>
	地域住民や関係機関などの連携	<p>コロナ禍で地域の関係機関との交流ができず、それに代わるもので補った。施設見学者等は、テラス側から行き、できるだけ要望に答えられるよう工夫してきた。見学者の方々も理解をしてくれていたのでスムーズに進められた。</p>	<p>外部機関との交流が持てなく、近隣の老人ホームへの慰問や、同法人の畑でのジャガイモ堀やさつま芋ほりができず、残念なことであったが、園内の畑やプランターを利用してみんなで体験できる工夫をとどのクラスも行ってきた。</p>
	運営管理	<p>コロナ禍の中で、会議の縮小、短時間実施等を要請されている中で、職員間の共通理解がうまく回るよう伝達や、回覧等での周知をするなどの工夫を行ってきた。情報源がメールやネットで、乏しく、地域の情報が入ってこないで、法人内の園での情報を参考にしながら進めてきた。</p>	<p>コロナ禍で情報がいろいろ変更になり、しっかり把握できるよう看護師や管理者問いに連携をしっかりとることが大切、また、保護者からの連絡等にも職員全体で把握する必要性があり、改めて「ほうれんそう」の必要性を感じた。行事等では発表会に保護者が参加せずビデオになったが、対策をしっかりとって参加できればよかったかと悔いが残った。</p>

令和 2年度 童話館保育園事業報告書

令和 2 年度は年明けに世界規模で発生した新型コロナウイルス感染症の影響で通常保育、行事に大きな変更が出てしまった。土浦市は 4 月 7 日から 5 月末日まで登園自粛となり、家庭で保育の可能な場合は自粛していただいた。その当時は約 2 割から 4 割程度の利用となった。子どもたちの毎日の健康管理に十分配慮するために、AI サーモカメラや空気清浄の為にオゾン機、消毒液やペーパータオルなどを国、市からの補助金にて購入し感染防止対策をし、3 密を避けるために行事の内容の変更をし対応した。

常に子ども主体の行事になるよう形を変え、みんなが楽しい行事を行うことができた。

しかし、現在も先の見えない状況であり、令和 3 年度事業に大きな変更や障害が出てきそうである。常に最新情報の取得を心がけ、安全かつ状況に応じた活動を展開していきたい。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	14	14	14	13	13	13	12	12	12	12	12	12
4歳児	12	15	15	15	14	14	14	14	14	14	14	14	14
3歳児	12	13	12	12	14	14	14	14	14	14	13	13	13
2歳児	12	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12
1歳児	14	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	8	8	8	9	9	9	9	10	10	10	10	10	10
合計	70	75	74	75	75	75	75	74	74	74	73	73	73

イ) 職員体制 (計 19 名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	9名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	3名	調理員	1名
副主任保育士	2名	看護師	1名		

2. 保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。

- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。

●定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

主な園内・園外行事

実施日	内 容	場 所
4月1日	入園式	2F 遊戯室
5月8日	野菜の苗植え、田植え	園 庭
7月 1日	プール開き	2F 遊戯室
7月 7日	七夕	各保育室
7月10日	お祭りごっこ	園 内
8月21日	お楽しみ保育	園 内
8月31日	プール納め	2F 遊戯室
9月 4日	老人福祉施設慰問	デイサービス ツクイ
9月11日	稲刈り	園 庭
10月9日	運動会	園 庭
10月27日	さつまいも掘り	園 庭
11月19～30日	作 品 展	正面玄関ホール
12月 18日	発 表 会	2F 遊戯室
12月 25日	老人福祉施設との交流	正面玄関ホール
2月 3日	節 分	園内・園庭
2月 19日	なわとび大会	園 庭
3月 3日	ひな祭り	各保育室
3月 10日	お別れ会	2F 遊戯室
3月 17日	卒園式	2F 遊戯室
3月 18日	老人福祉施設慰問	デイサービス ツクイ
3月 31日	修了式	2F 遊戯室

※ その他 誕生会（毎月）、個人面談、保育参観等

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施（ 6/18・11/16 ）
- ・歯科検診 年2回実施（ 6/18・11/12 ）

イ) 食育（給食）

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・食育活動の中で、野菜の種類や栄養について知り、食への関心を深めることができた。

・畑で季節の野菜を育て、育てることの大変さ・収穫する喜び等を体験することができた。

・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。(給食会議 月1回)

ウ) 安全対策

・ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。

・災害時に備え避難訓練を行った。

避難訓練実施状況

実施日	内容	消防立合	実施日	内容	消防立合
4月16日	地震、火災	無	9月17日	引き渡し訓練	無
5月22日	火災	無	10月22日	火災	無
5月28日	防犯教室	無	11月19日	弾道ミサイル・火災	無
6月25日	地震	無	12月10日	地震、火災	通報訓練
7月16日	火災	無	1月21日	火災	無
8月20日	火災	通報訓練	2月18日	地震、火災	無
9月17日	風水害	無	3月19日	火災	無

※他 不審者訓練(年2回 実施)

3. 職員

ア) 衛生感染対策

・定期健康診断(11月) ・保菌検査(給食・乳児担当職員は月1回)

・インフルエンザ予防接種(職員全員接種)

イ) 会議

・職員会議(毎月)

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題を取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

・職員の資質向上を目指し各研修に参加した。

※今年度はコロナの影響でリモートでの研修が行われた。

園内研修状況

開催日	研修名
4月 8日	保育士のあり方、心得について・虐待について、
4月 15日	食中毒予防策、嘔吐処理の仕方、消毒液の作成
4月 27日	災害時の避難について・不審者対策について
5月 8日	けいれんについて、SIDSについて
5月 13日	一時保育・電話対応について
6月 4日	予防接種・アレルギーについて
6月 10日	熱中症について
6月 24日	プール・プールカードについて、沐浴について
7月 3日	夏に流行する感染症について
7月 27日	新型コロナウイルス対応について
8月 5日	子どもへの言葉がけについて
9月 9日	手遊び・リトミックについて
10月 7日	冬の感染症について、嘔吐処理について
11月 11日	保護者対応について
12月 9日	歯の予防について
1月 13日	伝承遊びについて
2月 8日	絵本の読み聞かせについて
2月 16日	食品による子どもの窒息、誤嚥事故について
3月 5日	ヒヤリハットについて

4. 家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を来ない、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観

- ・年2回 保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。

※今年度はコロナの影響で中止となる。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行うが、今年度は無かった。

5. 地域とのかかわり

※地域で開催される様々なイベントへの参加は出来なかった。

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	<p>コロナ禍により縦割り保育や異年齢児合同の集団遊びを取り入れる事が難しく、クラスごとの活動が多くなってしまっている。行事も合同が難しくなる事で年上の子への憧れを持つ機会が減る事がないようになるべく4・5歳児での行事は配慮したり、戸外での活動には小さいクラスも見学に行ったりしている。</p>	<p>放送での行事にする事で、各クラスに居ても園全体で同じ雰囲気味わえる事が出来た。また、放送が鳴る驚きや不安も未満児でも見られなくなり、訓練時の対応にも繋がっている。 その年の状況・世の中に適応し、保育や行事を取り組めるよう常に情報収集に努める。</p>
	発達援助の基本	<p>未満児・以上児会議の際、それぞれ各クラスの現状を毎月話し合い、子どもの発達状況やクラスでの援助方法を挙げ、共有できるように努めた。担任同士の横のつながりや連携、学年ごとの発達段階を明確にする事で、保育に反映する事が出来た。 クラス全体での得意分野・好きな遊びを担当が把握し更に伸ばそうと多く取り入れている。</p>	<p>コロナ禍により、行事の変更・内容の見直しを全体的に行う必要があったが、行事本来のねらいや年齢に沿った取り組み方法は反れないよう協議し、今できる事を試みながら進めてきた。 月間指導計画で疑問点や不足部分を話し合い、分かりやすいよう文章にて明確に表す事が出来た。</p>
	健康管理・食事	<p>感染症対策の為、手洗いうがいの徹底・確認を行い、子ども達自身も意識できるよう日々声掛けをしている。また、その際順番を待つ間隔も保てるよう床にマークで示している事で子ども同士気付けるようになる。 昼食時隙時に対応できるよう、全クラスに座席対応法とチェックリストを整備している。 食育指導を通して、食事の大切さやマナー、季節ごとの旬野菜を伝え、「食」に関心が持てるよう遊びを交えながら行っている。</p>	<p>感染症やけいれんによる対応方法、嘔吐処理法の実践研修等どんな場面にも迅速に行えるよう定期的に確認できるようにする。 換気を時間で行う事になっているが、おそろかになってしまいう事がないよう全体での工夫が必要。 4色食品群の円グラフを基に年長児が毎日給食のメニュー分けを行って栄養士と確認し合う取り組みを続けている事で、食のエネルギーについて関心をもてるようになる。</p>
	保育環境	<p>子どもが安心安全・衛生的に過ごせるよう毎日安全点検や園全体のアルコール消毒をしっかりと行っている。また、玩具も小分けし、消毒済みと使用後に使い分けて使用している。掃除チェック表も内容を見直し、チェックする場所を増やした。 生活において、子どもが安定した環境で過ごせるよう寄り添ったり、愛着関係を築いたり、職員間が常に成長を共有し合い保育するよう心掛けている。</p>	<p>子ども目線・保護者目線になり園全体の環境整備に気を配り、誕生児の写真や掲示を掲示してもらえよう取り組んでいる。 また、駐車場においての注意喚起も門や園だよりにおいて呼び掛け、事故防止にも繋げる。 午睡が中々入眠できない子への個々の対応や安眠へと繋げる工夫を職員間で意見交換していく。</p>
	子育て支援	<p>衛生面において保護者が安心して預けられるよう職員が見守る中AIカメラの検温や手指消毒の徹底に努めた。 保育室に入れない事で子ども達の作品が見られない事がないよう廊下側に展示する配慮をした。また、誕生児の写真も月ごとに掲示し保護者にも見てもらうようにした。 密を避ける為、個人面談が行えない分、文書にて園の様子を伝えた。保護者より好評の声が多々聞かれた。</p>	<p>保護者が保育室にて子どもの荷物や支度を一緒に行えない分、持ち物の残量や着替えの補充など不足とならないよう担任が毎日確認し伝達する取り組みを行っている。 保護者や祖父母からの要望・意見で吸い上げられるものはなるべく添っていく。また、質問事項等の際は必ず職員間で情報共有し、返答や対応を行う。</p>
	地域住民や関係機関などの連携	<p>新型コロナウイルス感染症防止の為、保育園見学者は外からの見学という対応を事前に了承を得て行う。行事や概要も口頭だけでなく写真等を見てもらい、分かりやすいように補ってきた。 地域交流は今までは行き来したり触れ合ったりできない分、代表者がプレゼントを届けたり、小学生と文書にて交流を図ったりと違う方法で行えるようにしている。</p>	<p>コロナ禍により、回数を減らざるを得ない現状もあるので、貴重な経験や交流を大事にし記録へと繋げている。 一時預かり事業も夏～初冬頃まで常に利用者がいて、子育て支援に寄り添い、地域連携へと取り組んでいる。</p>
	運営管理	<p>コロナ対策により、会議の縮小やグループに分かれて時間も別々実施したり、園内研修も書面による研修にしたりと密を避ける対応をとる事で連携が図れないという声も職員間より挙がる。朝礼での周知や以上児・未満児職員に分けて一斉伝達を考慮しているが、難しい場面もある。 防犯カメラやアルソック設置を取り入れる事でより安心安全な運営を行う事が出来る。</p>	<p>保護者対応や子どものケガや伝達事項等今まで以上に情報共有できるように延長連絡簿をしっかりと活用し、園長・主任に報告と相談をしていく。 アルソックとは年1～2回避難訓練時に連動訓練の取り組みをする事で危機管理の心得や安全対策を再確認していきたい。</p>

令和2年度 りんりん保育園事業報告書

令和2年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の終息が見られず、新年度早々に石岡市より、登園自粛の要請が出されました。(4/17～5/31)が、勤務せざるを得ない保護者がいたため、1日平均、半数ほどの園児が登園していました。保育園では、感染防止に試行錯誤し、園児と職員の安全を守ることに配慮しながら保育を行ってきました。保育内容・行事等は、感染防止を考え、中止にしたり縮小して行い、その都度、職員と話し合いを持ちながら、新たなものを作り上げてきました。保育・行事等の内容を見直す良い機会になったと思います。環境面では衛生、ソーシャルデスタンスを保つために、手洗い・消毒・並び方などを例年以上に指導してきました。(オゾン発生器・顔認証カメラ(体温計測)・空気清浄機・防犯カメラの新たな導入もありました。)

日々の保育では、園の方針をもとに保育計画を立てて取り組んできました。業務の持ち帰りが無いよう時間を有効に使い、事務作業のできる時間を交代で持てるようにしました。職員不足問題は続く見込みですので、今後も在籍する職員が長く続けていけるような働きやすい職場環境作りに取り組んでいきたいと思っています。

園児には、運動機能を高める保育を積極的に取り入れ、体力・運動不足から引き起こる怪我をなくしていきたいと思っています。

1. 保育園の運営

ア) 利用者状況

クラス	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
3歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
2歳児	12	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
1歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
0歳児	10	2	2	2	3	4	7	8	9	10	10	10	10
合計	70	65	65	65	66	67	70	71	72	73	73	73	73

イ) 職員体制 (計 20名) 4月1日現在

園長	1名	保育士	6名	栄養士	1名
主任保育士	1名	非常勤保育士	6名	調理員	1名
副主任保育士	1名	看護師	1名	バス送迎	2名

※ 6/1～バスの送迎がなくなり、軽自動車ですべて保育士が送迎にあたりました。

2.保育の実施状況

- 指導計画に基づいた計画的な保育を行うことで情緒が安定し心身共に健康的な生活を送れるよう取り組んだ。
- 各園児の発達状況に合った保育を展開し、規則正しい生活習慣を身につける為の援助を行った。
- 定期的に異年齢保育を取り入れることで、思いやりや憧れの気持ちを持たせ向上心を養った。

主な園内・園外行事

実施日	内 容	場 所
4/1	入園式	りんりん保育園ホール
5/1	こどもの日集会	各クラス（放送にて）
6/4	歯みがき集会（3～5歳児）	ホール
7/3	夏祭り（3歳児～参加）保護者参加なし	園庭・園内
7/7	七夕集会（3～5歳児）	ホール
9/15	運動会（2～5歳児）	保育園園庭
10/21	お楽しみ保育（芋煮・Tシャツ作り等）	園庭・園内
12/5	発表会（2～5歳児）1部.2部で行い1家庭2名まで。	園内ホール
12/10～11	保育参観（0・1歳児：フリー参観）	各クラス・ホール
12/24	クリスマス会（3～5歳児）	園内ホール
2/26	お店屋さんごっこ（全園児）	ホール・保育室
3/3	ひな祭り集会（3～5歳児）	ホール
3/5	お別れ遠足（5歳児）	常陸風土記の丘
3/17	お別れ会（全園児）	ホール
3/26	卒園式（3～5歳児）	ホール
3/31	修了式（全園児）	ホール

※ その他クラス懇談会(2/15～24)、誕生会（毎月）、個人面談（5/18～22：13：00～16：00の15分程度）等

ア) 健康管理

- ・内科検診 年2回実施（ 6/18 ・ 11/19 ）
- ・歯科検診 年2回実施（ 6/11 ・ 11/12 ）

イ) 食育（給食）

- ・季節の素材や郷土の食材を積極的に取り入れ、「食を楽しむ」ことに取り組んだ。
- ・クッキングの活動の中で、体験を通して実際に作る楽しさを感じ、食への関心を深めることができた。
- ・畑で季節の野菜を育て、育てることの大変さ・収穫する喜び等を体験することができた。
- ・保護者や医師と連携し、アレルギー除去食の提供を行った。

- ・給食会議 : 離乳食会議 (月1回)
給食の内容を検討したり改善点などを話し合った。 アレルギー除去食について。離乳食の進め方について等。

ウ) 安全対策

- ・ヒヤリ・ハット報告書の事例を検証し事故要因を解消に努め、事故件数の減少に取り組んだ。
- ・災害時に備え避難訓練を行った。

実施日	内 容	消防立合	実施日	内 容	消防立合
4/17	火災 (地震)	無	11/6	地震火災	無
5/15	地震	無	12/4	地震	無
6/5	火災 (通報訓練)	無	1/15	火災	無
7/10	近隣火災	無	2/12	風水害 (竜巻)	無
8/21	地震	無	3/12	火災	無
9/4	地震 (石岡市シェイクアウト訓練)	無			
10/2	火災 (通報訓練)	無			

※不審者訓練 (年2回 9/4・1/22 実施) ※コロナ感染の影響で立ち合い訓練は無

3.職員

ア) 衛生感染対策

- ・定期健康診断 (11/16) 保菌検査 (毎月/18名) ※ノロウイルス検査 1~3月 (2名)
- ・インフルエンザ予防接種 (職員全員接種)

イ) 会議

- ・職員会議 (毎月)

子どもが安心して楽しめる環境づくりを目指し、クラスごとの様子や各家庭の状況を話し合い情報・認識の共有に努めた。行事においては反省会を開き、翌年以降の課題を取りまとめた。

ウ) 園内・園外研修

- ・職員の資質向上を目指し各研修に参加した。

※今年度はコロナの影響でリモートでの研修が行われた。

園内研修状況

開催日	研 修 名
4/2	熱性けいれん・マネジメント「働きやすい職場」
5/14	予防接種一覧・児童の人権尊重
6/17	SIDS・水遊び (水の事故・プールカード・日誌の書き方等)
7/16	脱水症状・幼児教育 (文字・ピアノの指導のしかた)

8/20	擦り傷・切り傷 ・ 劇・遊戯の指導のしかた
9/24	食物アレルギー・乳児保育（離乳食の進め方：0.1.2 歳児の対応）
10/27	感染予防と感染経路・感染症の対応（コロナ含）：嘔吐処理のしかた）
11/18	インフルエンザ・保護者対応・保護者支援
12/18	事故を防ぐ環境チェック・障害児保育（各クラスの気になる子）
1/14	痙攣時の対応・集団遊び（年齢別）
2/22	食事時の窒息事故・食育（給食の時に気になる子）
3/23	緊急時の対応・緊急時の対応（ヒヤリハット）

園外研修状況

11/25	令和 2 年度中堅保育士研修について「保育の質の確保と向上」 ※動画配信によるオンライン研修
12/3	令和 2 年度保育士研修 「新年度に向けた安全と安心：コロナウイルス感染症流行のもとで」 ※オンラインでの研修
12/8	赤十字幼児安全法～子供に起こりやすい事故の予防と応急手当 ※オンライン講習
12/24	特別支援教育の視点から考える保幼小の連携・接続 ※オンライン動画視聴

5.家庭との関わり

- ・園だよりを発行し保護者に園内での活動を伝えた。
- ・未満児は保護者と毎日連絡帳の交換を行い、家庭での生活と園での生活の情報を共有した。
- ・緊急時の連絡方法としてオクレンジャー（配信システム）を利用する。

ア) 保育参観

- ・年 2 回 保護者参観を設け、園内での子どもの様子を見てもらう。
※今年度はコロナの影響で 2 歳児からは発表会を参観とし、0.1 歳児のみ日程を変え、人数制限、時間短縮で行った。

イ) 苦情・要望

- ・保護者からの苦情・要望に対して迅速に説明または改善を行うが、今年度は無かった。

6.地域とのかかわり

※老人施設との交流はできなかったが、地域での行事（展示等）にはできる範囲で参加した。 【文化祭： 製作物の展示 ・ ひな祭り： 製作物の展示等】

令和2年度 自己評価結果

りんりん保育園

	項目	評価項目	
		現状（良かった点・悪かった点）	改善点及びその取り組み
子どもの発達援助	保育の方法・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナウイルスの影響で実施できなかったり、例年通りにいかなかった行事もあったが、今までの行事を見直す良い機会にもなった。 ・縦割り保育を始めて3年がたち、子ども達も楽しく参加している。今後内容を更に深め、子どもの主体性を引き出せる保育を探求していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・素材や用具を使って、遊びが広がるようなアイデアや知識を身に付けていく。 ・縦割り保育を通して、子ども達が中心となって遊びや活動を進んで考えられる様、環境づくりをしていった。 ・全職員での検討する機会を今以上に増やし、より良い保育に努めていく。
	発達援助の基本	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラス、個人の発達を把握し、その子に合った援助や計画を立て保育している。次年度につながる保育をしているが、0歳児から5歳児の発達や生活を見越した保育を更に意識していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児から以上児につながる目安となるマニュアルを作成した。マニュアル化することで、職員間で共通理解や意識を高め、一貫した保育を目指していきたい。
	健康管理・食事	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症予防のため、手指消毒・手洗いうがい・換気の徹底と園児・職員・保護者の検温を行っている。 ・アレルギー除去食を提供する園児が5名いる中で、改めてガイドラインを見直し対応したが、職員間の共通理解が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も市の指導を基に、出来る限りの感染予防に努めていく。 ・保護者・栄養士・保育士・看護師間で話し合いを密にし、提供ミスが無い様、努めていく。
	保育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・オゾン発生器・顔認証型サーマルカメラ・空気清浄機を導入し、感染症対策や室内及び玩具の消毒を行っている。 ・防犯カメラと警備会社（アルソック）の導入により、防犯の対策に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達にはソーシャルデスタンスやこまめな手指消毒の必要性を伝え、感染症対策への意識を高められる様、指導した。 ・機械に頼りすぎずに、防犯や衛生環境整備に努めてきた。
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・在園時の子育て支援としては、未満児は日々の連絡ノート、以上児はホワイトボードを使用して、子ども達の様子を伝えながら、子育ての共有をしてきた。 ・コロナウイルス感染症の対応については随時玄関先に掲示し、知らせていった。 ・面接も希望に応じて行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、オクレンジャーを試験的に導入したので、来年度も引き続き有効に利用・活用していきたい。 ・保健だよりを通して、感染症等も随時知らせていく。
	地域住民や関係機関などの連携	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症拡大防止のため、外部機関との交流は例年に比べると少なかったが、文化祭の絵の展示・ひなまつり製作展示の参加をした。 ・保幼少の連携では、小学校の職員が来園し、園児の様子を伝える事ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、感染症対策をしながらできる範囲の参加や交流をしていく。
	運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のシフトを作成し、協力して行事や保育が行える様、進めている。 ・会議等では、担当が内容を事前にまとめておく事で効率的に進められている。 ・事故があった際、原因や対策をすぐに話し合い改善に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チーム保育が出来ているので、より働きやすい環境作りを目指していく。 ・事故やケガを未然にふさげるよう、ヒヤリハットの記録や、玩具・遊具の安全点検の強化に努めていく。